

2016-B

Ⅲ11-B

拠出金・基金  
の名称

核物質等テロ行為防止特別基金拠出金

種 別

☒イヤマークのみ ☐一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国際原子力機関(IAEA)

【所管官庁担当局課・室名】軍縮不拡散・科学部不拡散・科学原子力課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

IAEAの核物質等テロ行為防止特別基金(核セキュリティ基金)は、2001年の米国同時多発テロ事件を受けて、テロ行為を防止するための事業計画を推進するために2002年3月に設置された基金。同基金を通じてアジア諸国を中心とする国際社会の核セキュリティを強化することを目的とする。我が国は、平成13年度から平成22年度まで(平成14年度と平成17年度を除く。)に累計94万ドルと約45万ユーロを拠出済み。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

| 単 位    | 邦 貨<br>(千 円) | 外貨1<br>(千ドル) | 外貨2<br>(千ユーロ) | レート       | ODA率(%) |
|--------|--------------|--------------|---------------|-----------|---------|
| 平成28年度 | 87,954       |              | 642           | 1ユーロ=137円 | 0       |
| 平成27年度 | 0            |              |               |           |         |
| 平成26年度 | 0            |              |               |           |         |

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

2016年3月のベルギーでのテロ事案など核関連施設へのテロやテロリスト等による核物質の奪取等の懸念が急増し、核セキュリティや核物質防護の重要性はますます高まっている。国際社会における核セキュリティ強化の取組の中心的役割を担うのはIAEAであり、IAEAはこの分野の知見を有している。しかし、IAEAの通常予算においては核セキュリティ分野に充てられる予算が限られており、事業実施のための予算は任意拠出の核セキュリティ基金で賄われおり、本基金に対する拠出は各国の核セキュリティの能力強化に直結している。

我が国は、2016年3月末の米国核セキュリティ・サミットにおいて、安倍総理が、IAEAの核セキュリティ強化に向けた活動に対して協力を惜しまないと発言した。また、2017年6月には、IAEAとともに国際社会の核セキュリティ強化を担う5つの機関・枠組みの一つであるGICNT(核テロリズムに対抗するためのグローバル・イニシアティブ)の全体会合(核テロ対策国際会議)を主催し、国際社会の核セキュリティ強化に向けた取組にコミットしている。

この観点から、本件拠出は、IAEAを通じて国際社会の核セキュリティ強化に迅速に効率的に貢献するとともに、上記の国際会議等の場で発表した、我が国の核セキュリティ強化へのコミットメントを具体的に示すものであり、効果的であったと評価できる。

【備考】